企業のサステナビリティに関わる非財務情報

関連キーワード:　サステナビリティ、非財務情報、地球環境、多様性

研究内容

企業が行う活動が組織内外の様々なステークホルダーに理解・評価され、その事業活動遂行のための経営資源を持続的に得るために、情報が持つ役割の重要性が高まっている。特に近年、地球規模の環境保護の要請の高まりや、企業がビジネスを行う上で人権やその多様性、地域の課題などへの配慮が求められるようになってきている。

企業が営利の追求と現代の社会からの要請を実現していくために、いかなる戦略に基づき活動を行うか、そしてその活動を組織の内外の様々な情報を用いて（分析をし）どのように生かすかが、一企業の経営として重要な課題となってきている。特に現在は、企業を取り巻き急速に増える情報（映像や音声などのデータを含む）や、これらのデータに基づく生成AIの、ビジネスでの活用における適切な対処が必要となってきている。

当該課題について共同で研究を行い、特に企業活動に関して多くの情報が開示される資本市場の観点から、日本企業に固有の経営課題を踏まえたアプローチを試みている。

＜参考＞

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）によるESG投資※

※ESGは、環境(Environment)・社会（Social）・ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉

出所）GPIF　HP「ESG・スチュワードシップ」から一部抜粋
https://www.gpif.go.jp/esg-stw/

研究者プロフィール

・情報学部　データサイエンス学科　講師　杉山　佳子
・専門分野：経営組織論、経営財務
・研究領域：コーポレートガバナンス、
　企業のサステナビリティ
　人材育成（長期雇用人材との関わり、管理職層の女性）
・所属学会：証券経済学会、組織学会、人材育成学会
・主な経歴：元（株）東京証券取引所勤務、
　上智大学非常勤講師

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

特に地域や企業活動に関わる様々な多様性の課題に対して、企業としてどのように取り組むべきか（組織内での取り組み、その活動の外部への情報発信等）について知見を提供することを通じて、連携を行うことが考えられる。

研究者への連絡先

sugiyama@mail.tohoku-gakuin.ac.jp